

# 民主化闘争情報

No. 827  
2011年6月20日  
発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

本年4月以降、3ヶ月連続で日貨労から組織拡大を果たしている貨物鉄産労が、6月に入って三人目となる新しい仲間を迎え入れた。貨物鉄産労は怒濤の勢いで組織を拡大している。

## 貨物鉄産労に日貨労から青年運転士が加入! JR貨物グループに働くすべての仲間はJR連合に総結集しよう!

貨物鉄産労は、2011年度に入って、4月に九州地区本部で2名、5月に東海地区本部で1名、そして6月7日には九州地区本部で2名の組織拡大を果たしているが、6月13日、今度は東海地区本部で新たな仲間の加入を勝ちとった。

今回、日貨労と決別し、貨物鉄産労に加入したのは静岡総合鉄道部の30歳の青年運転士だ。静岡総合鉄道部では5月に38歳の運転士が貨物鉄産労に加入したばかりであり、2ヶ月連続での組織拡大となる。貨物鉄産労は4月以降、これで6人目の組織拡大となるが、それも20歳台が4人、30歳台が2人というフレッシュな仲間たちである。

さらに、JR貨物の子会社である日本フレートライナーにおいて新組合・日本フレートライナーユニオン（FLユニオン）が結成され、JR連合に加盟したように、JR貨物グループでは、すべての働く仲間がJR連合に結集することが時代の趨勢となっている。

6月13～14日に開催したJR連合第20回定期大会で発言に立った貨物鉄産労森泉副委員長は、「貨物鉄産労はFLユニオンとともにJR貨物連合を結成した。自由にものが言えず、個人に対する中傷や攻撃を行う非民主的なJR総連・日貨労の運動から、自由闊達にものが言えるJR貨物連合にシフトする取り組みは着実に実を結んでいる」と述べ、JR貨物連合結成の意義を訴えた。

## 日本フレートライナーユニオンがJR連合に正式加盟!

JR連合は、6月12日の第13回執行委員会で、JR総連・JR貨物労連傘下の日本フレートライナー労働組合から脱退した組合員達が結成した日本フレートライナーユニオン（FLユニオン）の加盟を正式に承認した。

翌6月13日のJR連合第20回定期大会に招待されたFLユニオンの杉山委員長は、挨拶で「51名で結成した組織も63名になった。私は会社の発展と組合員の生活向上にむけ、粉骨砕身頑張っていく。今後ともご指導よろしくお願ひしたい」と力強く決意表明を行った。

FLユニオンは、6月15日に今年度の新規採用者2名の加入を勝ちとるなど、順調に組織を伸ばしている。

一方、JR総連は、6月5日に開催した第27回定期大会において、FLユニオン結成に対して「JR連合による組織破壊攻撃だ」などと、ヒステリックに叫び立てた模様である。自らの非民主的機関運営を自己批判することなく、例によって「組織破壊攻撃」のフレーズを繰り返すだけでは、良識ある組合員の人心が離れていくのは必然である。

